

宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

発達・子育て支援専門部会通信（第1号）

令和5年6月23日（金）に、令和5年度第1回宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 発達・子育て支援専門部会を開催いたしました。
部会の様子をお知らせします。

第1回の主な内容

1. 専門部会について
2. 部会員自己紹介
3. 検討（現状の把握・課題の抽出）



専門部会とは

「保幼小連携」「発達・子育ての支援」の推進にあたり、現状の把握、課題抽出、対応策の検討、研究・研修の企画実施等について、乳幼児教育・保育の実務をよく知る職員の意見を反映できる仕組みとするために設置したものの。



○自己紹介

部会員に任命された施設類型を越えた各園（所）の職員の皆様にお集りいただき、まずは、第1回目ということで、『顔の見える関係づくり』の第一歩として自己紹介カードを用いながらの自己紹介と、自園で抱えている課題や日々感じていることなどを話していただきました。

名前	所属
部活動や興味など（自由記入）	



○現状の把握と課題の抽出

部会長の進行のもと、自己紹介と併せて話していただいた課題等の詳細な内容について、さらに掘り下げていきました。

主な意見



【人的な環境の課題】

- ・ 保護者支援の難しさ
- ・ 就学前施設の職員の人手不足
- ・ 加配のない小学校に入学することに対する保護者の不安感
- ・ 療育施設の不足、療育施設の職員の人手不足
- ・ 就学前施設の職員が療育のスキルを培っていけるような仕組み

【制度的な環境の課題】

- ・ 小学校において支援が必要な児童に対し、一緒に授業を受けるなどの方法で支援する制度（教育サポーター）
- ・ 入園する前にあらかじめ支援の必要な子どもを見る機会があればよい
- ・ 気軽に定期的に専門の方が来ていただけるような相談の仕組みがあればよい
- ・ 各園にアドバイザー的な存在の必要性

【関係機関等の連携・協働の課題】

- ・ 他市町村からの転入や他市町村の就学前施設、療育施設に通園している子どもの情報が入ってこない、連携が取りづらい
- ・ 切れ目のない支援の仕方
- ・ 市町村同士の情報の共有。市町村を越えての連携



(仮称)宇治市乳幼児教育・保育支援センターとは

施設類型を越えて全市的に連携・協働し、各施設での取組を共有することにより、これまで以上に、保幼小連携の取組推進や人材育成など、教育・保育の質の向上を図ることが可能となると考え、その仕組みづくりとして設置するもの。

宇治市乳幼児教育・保育推進協議会とは

すべての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築すべく、乳幼児期の子どもの状況や課題を共有し、連携、協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成を図るとともに、各施設間、家庭・地域の教育・保育力の確保・向上を支援するため、設置したものの。

